

## あ と が き

第3号は腎移植特集号といたしました。腎移植は、慢性腎不全の治療法として、血液透析とともに推進しなければならない治療法であります。日本透析医会定款にもその事業の一つとして取りあげられております。

今回の執筆者は、直接移植に携わる医師のみでなく、民間人の立場より腎臓バンクの活動にご理解をいただいている豊橋ライオンズクラブの井沢さん、患者の立場より全腎協の小林さんに加わっていただきました。これにより多方面からのアプローチが行われており会員の皆様に多くの示唆を与えるものと考えます。これを機会に、会員の皆様の腎臓移植に対する理解が深まり、日本の腎移植が円滑に推進されるよう心から願うものであります。

編集責任者 太田 裕 祥